

つきたい力

めざす生徒像

「**頑張ring students**～学び続ける成法中生～」
自ら学びを前に進め、継続して取り組む力



取組みの概要・ポイント

- ・学習計画表・自己調整学習チェックリストを中心とする「自己調整力」を育む授業づくり
- ・生徒が「自己調整力」を発揮する場面を作る「生徒に時間を手渡す」授業デザインの推進
- ・情報活用能力を高める「デジタルシティズンシップ教育」の実施



具体的な取組みの内容（成法中学校の「頑張ring」）

取組みモデル

情報活用スキル

頑張ring力

思考スキル 自己調整スキル



「頑張ring力」

=自ら学びを前に進め、継続して取り組む力を3つのスキルに分解

- ・**情報活用スキル**
自ら学ぶ力の基盤となるスキル。自分の必要な知識にアクセスし、適切に運用するスキル
- ・**思考スキル**
課題解決のために、課題を分解し、整理・分析するスキル
- ・**自己調整スキル**
学びに向かう情動面をセルフコントロールしたり、課題解決に向けた時間配分・学習手法を適切に選択したりする。また、それらの学習を振り返り、次の学びに生かすスキル

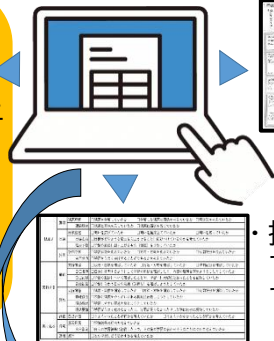
探究的な学び

- ・資料(教科書・動画・Webサイト・ワークなど)を活用する能力の向上
- ・「単元を貫く問い」の設定



「協働」を促す工夫

- ・チャットを活用した授業中の新しいコミュニケーション



学習計画表

- ・単元のめあて・計画を生徒と共有することにより、生徒は「学習の見通し」を立てることができる。振り返りによって学習ログの整理がおこなわれる。

自己調整学習チェックリスト

- ・授業者は、生徒が自己調整スキルを発揮できるように授業をデザインできる。生徒は自分が自己調整スキルを発揮できているか「メタ認知」できる。

自由進度学習

- ・授業者は手作りの解説動画を準備
- ・生徒は「学び方」を自分で選択
- ・援助要請が出しやすい学習集団づくり



個別最適な学び

- 「学ぶ場所はどこでもいい」
第2すこやかルームを開設し、教室以外でのオンライン授業ができる環境を設定



さらに詳しくは

「成法中学校HP
スマスク実現
プロジェクトページ」へ



取組みを通しての子どもの変容

- ①定期テストにおける、記述式問題の平均無解答率 R6.3月 → R6.12月で、5.81ポイント減少
＝学習に前向きになり、粘り強く問題に向き合う力が育まれている！
- ②教員アンケート「ICT活用を指導する能力」肯定的回答 55% (R6.4月) → 87% (R6.12月) = 学校全体での取組みとして、教員の資質・能力が向上！